

第1回

シリーズ「霊的集団の誤りを正す」第3弾

ともひさ
太田朝久

「駒場集団の誤りについて」

本講座では、霊的集団「李勝哲・駒場久美子集団」の言説の誤りを取り上げます。彼らは、16万訪韓セミナーのみ言などを自分かかってに解釈し、自分たちの活動を正当化しようとしています。彼らの「誤った言説」を文鮮明先生のみ言を中心に正しながら、私たちが持つべき正統的な信仰とは何かについて説明します。KMS会員とAPT F会員は動画版シリーズ「霊的集団の誤りを正す」第3弾を、KMSウェブサイトで見聴できます。第1弾、第2弾も併せてご覧ください。(編集部)

1・霊的集団の共通点

「駒場久美子集団」は、3万双の韓日家庭である李勝哲・駒場久美子夫妻(二〇一四年一月十五日除名・左ページ写真)を中心とする霊的集団のことです。彼らは『天人真の父母実体み言』に対して「と題する独自の小冊子を作り、彼らの悟ったとする言説を語って祝福家庭や教会員に近づき、彼らの分派活動に取り込もうとします。」

駒場久美子氏は一時期、中山芳子集団に所属して活動していました。しかし、二〇〇九年十二月二十二日、独自に悟ったとする内容をまとめ、二〇一〇年十二月十三日、その内容を増補し、さらに二〇一二年二月二十三日、最終的にまとめた彼らの「誤った言説」をもって活動しています。

李勝哲・駒場久美子言説の誤りを、具体的に取り上げて説明していく前に、禹(ウ)集団や中山集団および駒場集団など、霊的集団には「誤りの共通点」があることから、第一回は、その共通点を説明します。

今後も、み言を独自に解釈し、自分たちの「分派活動」に取り込んでいくこととする「霊的集団」が起こってくる可能性があります。したがって、個別的に誤りを指摘するだけでは、いわゆる「もぐら叩き」のような状況となってしまいかねません。そうならないために、まず、霊的集団の共通点を取り上げ、私たちが持つべき正統的な信仰について説明しておこうと思えます。

【霊的集団の特徴1】

「祝福結婚」の絶対価値の否定

「霊的集団」の特徴は、「祝福結婚」の絶対価値を否定するところにあると言っても過言ではありません。真のお父様(文鮮明先生)は、「祝福結婚」および「聖酒式」について、次のように語っておられます。

「私が主導してきた祝福運動は、単純な結婚儀式ではなく、原罪を清算し、本来の真の血統によって天に接ぎ木する神聖な行事なのです」(『平和神経』二八四ページ)

ところが霊的集団は、祝福結婚によって、いまだに「原罪は清算されていない」と主張します。真のお父様は「聖酒式」について、さらに次のように語っておられます。

「堕落によって汚された血統を継承したので、それを転換しなければなりません。これ(聖酒式)をしなければ原罪を脱げず、原罪を脱がなければ真の子女として祝福を受けられる段階に上がることができません。原理がそのようになっています。堕落によって生じた原罪を脱ぐ血統転換、すなわち血肉を交換する式が聖酒式です」(『祝福家庭と理想天国(一)』九〇六〜九〇七ページ)

真のお父様は、「聖酒式」とは原罪を清算する式であると同時に、血統転換をするための式であると明確に語っておられます。ところが、霊的集団は「聖酒式」以外の、彼ら独自の方法をもって「血統転換をなす」かのよう主張しています。

それゆえ、もし、「祝福結婚」や「聖酒式」の絶対価値を軽んじていたり、あるいは、

それとは別の方法で「原罪清算」や「血統転換」をするかのよう主張している事実が分かったなら、その人は「霊的集団」に属する人ではないかと、まず疑ってみる必要があります。そして、信仰を守るために、そのような人や集団を分別し、彼らとの接触を断つ勇氣も必要です。



【霊的集団の特徴2】

真の父母以外の別の「中心」を持ち出す

霊的集団の特徴は、真の父母様のみ言を語りながらも、最終的に、真のお父様(文鮮明先生)、真のお母様(韓鶴子夫人)以外

に、別の「中心」を持ち出してくることです。文鮮明先生が聖和された今の時代は、地上界において、真のお父様と「最終一体」をなされた真のお母様、すなわち韓鶴子夫人を絶対中心とし、完全一体化しなければならぬ時代圏です。真のお父様は、お父様が霊界に行かれた後について、次のように語っておられました。

「伝統はただ一つ！ 真のお父様を中心として！ 他の誰かの、どんな話にも影響されてはいけません。先生が教えた御言と先生の原理の御言以外には、どんな話にも従ってはならないのです。今、先生を中心としてお母様(韓鶴子夫人)を立てました。先生が霊界に行ったならば、お母様を絶対中心として、絶対的に一つにならなければなりません。今、お母様が行く道は、お父様が今まで立てた御言と説教集を中心として、行かなければならないのです。他の言葉を述べるのを許しません」(『祝福』一九九五年度夏季号、六八ページ)

このように、真のお父様は、ご自分が聖

和した後は、真のお母様（韓鶴子夫人）を絶対中心として、絶対的に一つにならなければならぬと語っております。

また、次のようにも語っております。

「お母様は私（文鮮明先生）の影のようです。付いて回る影のようなので、私は実体をもった主体の教主であり、お母様は対象の教主です。それで、私は第一教主、お母様は第二教主です」（『真の父母の絶対価値と民族的メシヤの道』一一六ページ）

このように、真のお父様は、真のお母様（韓鶴子夫人）こそが「第二教主」であると明言しております。したがって、真のお母様（韓鶴子夫人）を批判したり、真のお母様（韓鶴子夫人）と徐々に距離ができて始めていると感じたならば、それは霊的集団分派活動であると悟って、即座にその場所（集団）から離れなければなりません。

【霊的集団の共通点3】
み言中、心主義を装い、原理以外の言説を主張

信仰生活の生命線である点を肝に銘じなければなりません。

「神様も、お独りでは、愛の目的を成し遂げることはできません。無形の神様であられるので、実体世界の息子、娘をもって初めて天国をつくる事ができるのです。……体がなければなりません。実体が必要です。無形の神様が、実体世界に対して、いくら（み言で）警告をし、忠告をしても通じません。通じないのです。ですから、通じるためには、実体がなければならぬのです」（同、一六六ページ）

神様の天地創造自体が、**体** という実体をもった息子・娘、すなわちアダムとエバを絶対的に必要とし、展開されました。

その個性完成すべきアダムとエバを堕落によって失ってしまったので、神様の復帰摂理とは、まず神様の血統をもった個性完成したアダムすなわちメシヤをこの地上に遣わし、そのメシヤがみ言を解明するとともに、地上の墮落世界から「真の母」を復帰して、勝利した人類の「真の父母」とな

「霊的集団」は、み言中心主義を装いながら、独自の言説を語って、私たちの信仰を少しずつ壊し、最後には真の父母様と関係のないところに引っ張っていきます。彼らの勧誘は、大変巧妙です。そこで、私たちが正しい信仰生活を歩むために、とても有益なみ言集『真の父母の絶対価値と民族的メシヤの道』が光言社から出版されています。【図一】



霊的集団の罠に引っかからないためにも、神様の復帰摂理がどうなっているのか、このみ言集を熟読して、その基本的内容を理解しておく必要があります。『真の父母の絶対価値と民族的メシヤの道』から幾つかの

らなければなりません。

「再臨主とは、真の父として来て真の母を取り戻し、真の父母の位置を設定して、失ってしまった神様と一つになる愛の核を設定するために来られる方です。ですから、イエス様が終わりの日に再臨して何をされるかという、新婦を取り戻すのです」（同、三七ページ）

「墮落の子孫である人類は、自らの力で墮落圏を抜け出すことはできません。このような事態を招いたのはアダムとエバです。悪の先祖によって墮落したので、完成した先祖が来てあらゆることを解明し、誰もが墮落圏から抜け出すことができるよう、その内容を教示しなければなりません。そのように、勝利した主人でなければ、墮落の峠を越えていくことはできません。その方が、結局は再臨主であり、真の父母です」（同、三四ページ）

このように、再臨主であられる文鮮明先生は、完成した先祖として来られ、「あらゆる

み言を紹介します。

私たちが知らなければならぬことは、いくらみ言を語り、それを信じている人であったとしても、真の父母様、すなわち文鮮明先生および韓鶴子夫人につながらなければ、それは正しい信仰と言えないという点です。真のお父様は、次のように語っております。

「み言が先でしょうか、実体が先でしょうか。今日の宗教では、実体に関する確信をもつことができず、律法を重視するので、実体と律法が一体になるということは、本当に難しいのです。統一教会では、み言が先ではありません。実体があつてその実体が行った事実をみ言で証（あかし）するので、内外が一致し得る内容を知ることができるのです」（同、三三三ページ）

み言とは、勝利された文鮮明先生、韓鶴子夫人、すなわち「真の父母」という実体があつて語られているものです。したがって、実体の真の父母様につながるこそが、私たち祝福家庭ならびに教会員の

ることを解明」され、そして、人類の「真の父母」となられたのです。文先生は、人類が知らなければならぬ「真理」の全てを公表されています。

以上、述べてきたように、私たちは次の点をよく理解しておく必要があります。

①「祝福結婚」や「聖酒式」が、唯一、原罪を清算し、血統転換をなすための神聖な儀式である。

②み言より、実体が先であり、そのみ言の完成実体である真の父母様、すなわち文鮮明先生、韓鶴子夫人につながる事が、信仰生活の生命線である。

③再臨主であられる文鮮明先生は、救いのために必要な「真理」全てを解明しておられ、それ以外の別のみ言が必要だとは言われていない。

④文鮮明先生が聖和された今、地上界において、真のお父様と「最終一体」を成された真のお母様（韓鶴子夫人）を絶対中心とし、絶対的に一つにならなければならぬ。

以上の点をしっかりと理解し、「霊的集団」の巧妙な勧誘に巻き込まれないよう十分に注意しなければなりません。